

兼松石居 かねまつ いしき 舊弘前藩儒。文化七年五月二日江戸本所生れ、明治十年十一月十一日歿（一八二一—七七）。諱誠、字成言、通稱列三郎、三郎。別號まこと、不知無書堂主人、八々翁、兼々山、包木公、半間散人、小斜川、小石、拓居、斜川漁史、昔人樓、神坂居士、晚甘亭、晚甘醉史、晚甘醉翁、木石居、畠谷山人、石居々士、蒼居、胡孫翁、茶畦翁、蛸居、行藏獨倚樓、鷹居、黄石居、蠶居等。昌平坂學問所に入り、古賀精里、佐藤一齋等ハシ學ぶ。書院番ハ列シ、蘭學も修めた。のち藩蠶稽古館校長、また私塾麗澤堂を興く。明治五年東京義塾を創設して教授。著述多く、和歌も能くした。



森林助著『兼松石居先生傳』(昭和六年十月六日青森・神書店)刊。